

(株)チェンジビジョン
TRICHORD開発部
懸田 剛



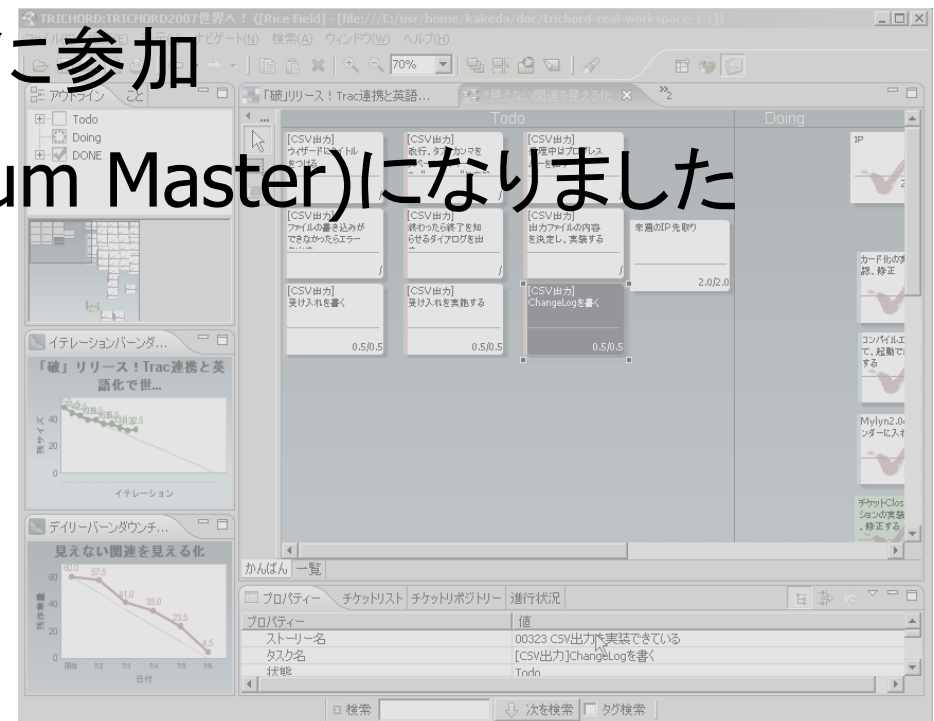
Scrum見つけた

自己紹介



- 懸田 剛

- (株)チェンジビジョン TRICHORD開発部
- 製品開発に携わる
- 最初のScrum本の共訳に参加
- 先日CSM(Certified Scrum Master)になりました



概要



先日、Certified Scrum
Master Trainingに参加
その気づきを紹介

気づき[1]



自分たちの
やっていることは
大体Scrumだった

何でそう思った？



- 計画、見積、チーム、ふりかえり、etc
 - 以下参照
 - http://www.objectclub.jp/download/files/event/2006Christmas/TRICHORD_practice_oblove_20061220.pdf



用語は若干違うけど...

イテレーション => イテレーション
ふりかえり => レトロスペクティブ
朝会 => スタンドアップミーティング

「大体」ってどういう意味？



あるルール、定義を
もっと深く考える
必要があったから

気づき[2]



「完了」という状態は
定義を拡張していく
ものである

気づき[2] 完了



- あるイテレーション/スプリントの終了はどんな意味を持つか？
 - Potentially Shippable Product
 - 潜在的に出荷/納品可能な製品
- 出荷可能とはどういう意味？
 - イテレーション完了後に、イテレーションの増分を(潜在的に)提供することができる
 - そのままユーザーが検証できる
 - そのままユーザーが即日運用できる

よく考えたら やってた



- 自然と完了定義を拡張してきた
 - (1) 受入れテストがパスしたら
 - (2) (1)の定義+チェンジログを記入したら
 - (3) (2)の定義+UIテスト自動化を実施したら
 - (4) (3)の定義+ヘルプを記述したら
- 最終的なゴールはここ
 - 「やっぱりこのイテレーション終了後にリリースするから」と言われてもOKなようにする
 - イテレーション == リリース == スプリント

気づき[2]



プロダクトオーナーの 振舞い

プロダクトオーナーって？



- 製品の全責任者
 - 顧客の代理人にもなる
- 期日の設定
 - リリース時期
- 何をするか(What)を決める
- バックログの日々のメンテナンス
 - 価値設定、優先度付け、詳細化、リファクタリング
- チームとの対話
 - 開発側のフィードバックを受けて計画を見直す

改善ポイント



- 十二分にメンテナンスされたバックログ
 - コードと一緒に、日々見直しをしていく必要あり
 - 継続的なメンテナンス(優先度付け、価値判断、詳細化)
 - 十分なバックログ貯金
- What視点とHow視点のバランス
 - 市場に価値を提供するために
 - 期日にリリースするために
- ステークホルダー間との対話
 - 顧客、経営、そして開発チーム

今回以外の話



詳しくは...以下まで
<http://giantech.jp/>

次回予告



プロダクトオーナーとして、
何をし始めたかについて

乞うご期待(?)